

東アジアの人文・社会科学に おける研究評価

—制度とその変化—

佐藤 幸人 編



東アジアの人文・社会科学に
おける研究評価
——制度とその変化——

佐藤 幸人 編

目次

まえがき	佐藤幸人	i
略語一覧		
序章 東アジアにおける人文・社会科学の研究評価制度へのアプローチ	佐藤 幸人	i
はじめに	2	
第1節 評価の種類	4	
第2節 適当な研究評価の模索	8	
2-1. 数量的指標の使い勝手のよさというメリット	8	
2-2. 数量的指標のデメリット	10	
2-3. 人文・社会科学の研究評価における数量的指標の デメリット	13	
2-4. サンフランシスコ宣言とライデン声明	14	
第3節 東アジアの評価制度および日本の特徴と課題	16	
3-1. 研究評価制度の導入の背景	16	
3-2. 研究評価制度とその作用	17	
3-3. 引用索引データベースの構築	20	
3-4. 日本の特徴と課題	20	
おわりに	22	
第1章 韓国——大学の国際化と評価への期待と葛藤——		
二階 宏之	25	
はじめに	26	
第1節 高等教育政策における大学改革	27	
1-1. 国家主導の大学近代化 ——李承晩政権から朴正熙政権まで——	27	
1-2. 民主化、国際化時代における高等教育政策		

——全斗煥政権から金泳三政権まで——	28
1-3. 少子高齢化対策としての大学構造改革	
——金大中政権から文在寅政権まで——	30
第2節 大学評価	32
2-1. 機関別認証評価	32
2-2. 大学財政支援事業	33
2-3. 「2018年大学基本能力診断」	36
2-4. 国内大学ランキング	39
第3節 大学教員業績評価制度	39
3-1. 制度の概要	40
3-2. 研究・教育業績中心の評価構造	40
3-3. 国際学術ジャーナルへの高い評価	42
3-4. 昇進評価の事例	43
3-5. 評価が残した課題	45
第4節 学術・研究支援事業	46
4-1. 学術・研究支援事業の概要	46
4-2. 人文・社会科学への支援	47
4-3. 人文・社会科学の発展へ	49
第5節 学術ジャーナル登録制度	50
5-1. 制度の概要	50
5-2. 財団登録ジャーナルの現況	51
5-3. 国内ジャーナルに集中する社会科学分野	52
5-4. 国内外との連携	53
おわりに	54
第2章 台湾——批判を受けつつ定着が進む評価制度——	
.....佐藤 幸人	63
はじめに	64

第1節	台湾の人文・社会科学における評価制度の生成	65
1-1.	評価制度導入の背景	65
1-2.	大学の評価にかかわる諸政策	67
1-3.	大学の疑心暗鬼が生んだ数量的指標重視の教員評価制度	72
第2節	沸き起こる批判	76
2-1.	初期の反発や批判	76
2-2.	「台湾の高等教育における学術評価の再考」シンポジウム	77
2-3.	反 SSCI および SCI 偏重署名運動	79
2-4.	労働運動による評価制度批判	81
第3節	変わる政策と変わらない制度	82
3-1.	政策の方向転換	82
3-2.	変わらない教員評価制度	84
3-3.	評価制度の定着と副作用	89
おわりに		90
第3章	香港——多様な研究成果の受容と「国際」基準による評価——	
.....狩野 修二	97
はじめに		98
第1節	研究評価制度の導入と評価機関・被評価機関の概要	99
1-1.	研究評価導入の背景	99
1-2.	研究評価制度 (RAE)	101
1-3.	研究評価の実施機関 (UGC)	101
1-4.	香港の高等教育機関 (被評価機関)	103
第2節	大学に対する研究評価 (RAE) の実施とその変遷	103
2-1.	UGC による研究評価の仕組み	104
2-2.	RAE の変遷とその特徴	107
第3節	大学内における研究評価の仕組み	112
第4節	研究成果の変遷と研究評価がおよぼす影響	114

4-1. 研究評価が研究活動に与えた影響	114
4-2. データからみる研究成果の変化	117
おわりに	129
第4章 中国——世界水準と「中国の特色」——	
.....	澤田 裕子 137
はじめに	138
第1節 高等教育重点化政策	140
1-1. 大学重点化と研究水準の向上	140
1-2. 211 プロジェクト, 985 プロジェクト, 111 プロジェクト	141
1-3. 双一流	142
第2節 教員の研究業績評価	144
2-1. 業績評価制度の導入	144
2-2. 人事制度・評価方法の多様化	145
第3節 教員の業績評価の実態	146
3-1. 評価指標の具体例	146
3-2. 教員へのインセンティブ	151
3-3. 人文・社会科学研究の成果	154
3-4. 教員アンケートの結果	155
第4節 研究評価を支える学術ジャーナル評価	157
4-1. 学術ジャーナル評価	157
4-2. 学術評価機関の紹介	159
4-3. 学術的信頼性の確立をめざして	163
おわりに	164
第5章 日本——複雑な評価制度と大学の疲弊——	
.....	岸 真由美 175
はじめに	176

第1節 教育改革・行政改革の一環としての大学評価	177
1-1. 高等教育研究の質保証・説明責任としての 自己評価・認証評価	177
1-2. 行政改革の一環としての国立大学法人評価	178
1-3. 科学技術政策のもとでの研究評価の導入	180
第2節 各大学評価の実施方法およびちがい	181
2-1. 質保証としての自己点検・評価, および認証評価	182
2-2. 資金配分と説明責任のための国立大学法人評価	183
2-3. 大学改革支援等の補助金配分に関する評価	185
第3節 大学評価とその影響——評価疲れ, 財政難と 大学間格差の拡大——	186
3-1. 重層的な評価制度と評価疲れ	186
3-2. 大学間格差と自然科学分野への偏重の拡大	187
3-3. 日本の研究力の減退とその要因	189
第4節 研究者個人の業績評価とその実態	191
4-1. 大学における業績評価の導入	192
4-2. 科研費審査としての研究評価	197
おわりに	199

—コラム—

- | | |
|---|-----|
| ①インドネシア 理想と現実の間 | 58 |
| ②インド 横行する粗悪なジャーナル | 93 |
| ③イギリスとオーストラリア 評価制度からみえる研究と社会のコミュニケーションの模索 | 133 |
| ④オランダ プログラムベースの科学技術政策は社会科学研究的の流れを変えたのか | 169 |

索引	203
----	-----

複製許可およびPDF版の提供について

点訳データ、音読データ、拡大写本データなど、視覚障害者のための利用に限り、非営利目的を条件として、本書の内容を複製することを認めます (<http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/reproduction.html>)。転載許可担当宛に書面でお申し込みください。

また、視覚障害、肢体不自由などを理由として必要とされる方に、本書のPDF ファイルを提供します。下記のPDF 版申込書（コピー不可）を切り取り、必要事項をご記入のうえ、販売担当宛ご郵送ください。折り返しPDF ファイルを電子メールに添付してお送りします。

〒261 - 8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2
日本貿易振興機構 アジア経済研究所
学術情報センター成果出版課 各担当宛

ご連絡頂いた個人情報は、アジア経済研究所成果出版課（個人情報保護管理者 - 成果出版課長 043-299-9538）が厳重に管理し、本用途以外には使用いたしません。また、ご本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

アジア経済研究所学術情報センター 成果出版課長

PDF版の提供を申し込みます。他の用途には利用しません。

佐藤幸人編

『東アジアの人文・社会科学における研究評価——制度とその変化——』【アジ研選書 No. 55】2020年

住所 〒

氏名：

年齢：

職業：

電話番号：

電子メールアドレス：

執筆者一覧（執筆順，所属は2020年2月29日時点）

さとう ゆきひと
佐藤 幸人（アジア経済研究所研究推進部）

にかい ひろゆき
二階 宏之（アジア経済研究所学術情報センター）

アブドゥル・ハミッド（インドネシア／スルタン・アグン・ティルタヤサ
大学）

アルップ・ミトラ（インド／経済成長研究所および南アジア大学）

かのう しゅうじ
狩野 修二（アジア経済研究所学術情報センター図書館情報課）

おかだ まさひろ
岡田 雅浩（アジア経済研究所学術情報センター成果出版課）

さわだ ゆうこ
澤田 裕子（アジア経済研究所学術情報センター）

マルヨライン・ファン・グリータイゼン（オランダ／グローバル・サイエ
ンティフィク・ビジネス・イノベーション）

きし まゆみ
岸 真由美（アジア経済研究所学術情報センター）

[アジ研選書 No.55]

東アジアの人文・社会科学における研究評価
—制度とその変化—

2020年3月17日発行

定価 [本体2,600円+税]

編者 佐藤 幸人

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 ㊦ 261-8545

学術情報センター 電話 043-299-9735（販売）

FAX 043-299-9736（販売）

E-mail syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 株式会社丸井工文社

© 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 2020

落丁・乱丁本はお取り替えます

無断転載を禁ず

ISBN 978-4-258-29055-0

出版案内

「アジア研選書」

(表示価格は本体価格です)

55	東アジアの人文・社会科学における研究評価制度とその変化	佐藤幸人編	2020年	208p. 2600円	研究をどう評価すべきか。たとえば、本1冊と論文3本では、どちらを高く評価するのか。こうした問題に興味をもつならば、本書から東アジアの人文・社会科学の取組みを知ってほしい。
54	マクロ計量モデル その利用と応用	植村仁一編	2020年	184p. 2300円	マクロ計量モデルを中心としたシナリオ分析例を紹介し、発展段階の異なる経済への応用の一助とする。また、東アジア貿易リンクモデルを用い、昨今の米中情勢がもたらす同地域への影響を展望する。
53	現代フィリピンの法と政治 再民主化後30年の軌跡	知花いづみ・今泉慎也著	2019年	182p. 2300円	アジア諸国における民主化運動と憲法改革の先駆けとなったフィリピンの1987年憲法の制度設計と政治・社会との関係の考察を通じて、フィリピンの政治と法の課題を探る。
52	21世紀のフィリピン経済・政治・産業 最後の龍になれるか？	柏原千英編	2019年	186p. 2400円	「アジアの奇跡」に乗り遅れたフィリピンは、約30年遅れて「最後の龍」になれるだろうか。近年、活況を呈する同国の2000年代以降における経済・政治・産業を概観・解説する。
51	アジアの障害者のアクセシビリティ法制 バリアフリー化の現状と課題	小林昌之編	2019年	207p. 2600円	障害者がほかの者と平等に人権および基本的自由を享有するための前提条件であるアクセシビリティの保障について、アジア6カ国の法整備の実態を分析し、課題を明らかにする。
50	習近平「新時代」の中国	大西康雄編	2019年	214p. 2600円	2期10年の慣例を超えた長期政権を目指す習近平政権は、多くの課題に直面している。本書では、諸課題の分析を通じ、政権が「新時代」を切り拓くための条件を展望する。
49	不妊治療の時代の中東 家族をつくる、家族を生きる	村上 薫編	2018年	245p. 3100円	男女とも「親になって一人前」とされる中東。不妊治療が急速に普及する今、人々は家族をどうつくり、生きようとしているのか。宗教倫理・医療的背景とともに、その営みを描く。
48	ハイチとドミニカ共和国 ひとつの島に共存するカリブ二国の発展と今	山岡加奈子編	2018年	200p. 2500円	カリブ海に浮かぶイスパニョーラ島を分け合うハイチとドミニカ共和国。日本ではほとんど知られていない両国は、開発と経済発展、個人独裁の歴史、国民の生活水準、貧困と格差、大国の介入といった点で、共通点と際立った差異の両方を見せている。中米・カリブの専門家によるバイオニアの研究書。
47	マクロ計量モデルの基礎と実際 東アジアを中心に	植村仁一編	2018年	204p. 2600円	分析手法としてのマクロ計量モデルの歴史、構築のイロハから各国での活用例、大規模モデルへの発展まで、東アジアを中心として解説する。また、今後同地域が直面していくであろう高齢化といった問題を取り込む試みも行う。
46	低成長時代を迎えた韓国	安倍 誠編	2017年	203p. 2500円	かつてのダイナミズムを失って低成長と格差の拡大に苦しむ韓国の現在を、産業競争力と構造調整、高齢化と貧困、非正規雇用、社会保障政策の各テーマを中心に描き出す。
45	インドの公共サービス	佐藤創・太田仁志編	2017年	259p. 3200円	1991年の経済自由化から4半世紀が経過した今日、国民生活に重要なインドの公共サービス部門はどのような状況にあるのか。本書では飲料水、都市ごみ処理等の公共サービスの実態を明らかにし、またその改革の方向を探る。

ISBN978-4-258-29055-0

C3304 ¥2600E



9784258290550

定価： 本体 2,600円 + 税



1923304026004



アジア経済研究所
IDE-JETRO